

不思議な夜へ、出発しましょう

少し、うとうととしてしまったかしら
控えめに揺れるシート

ぼうつと霞がかった赤いランプ

ぶと、向かいに座った紳士な猫が

私に話しかけました

「今宵は十五夜 おいでなんせ」

すると電車は少しずつ浮き上がり、

車窓に映るあのお月様にむかって

ゆっくりと走りはじめたのです

わたしの街が、どんどん小さくなっていく…

目の前に広がるのは 星たちの小さな瞬き、

銀河なのでした

間もなく、終着の声を聞き、

読みかけの本を閉じました

お話の続きは、また今度。

物語をのせて、今日を走る
上毛電鉄。



*レトロ車両(デハ101)は、臨時及び貸切時のみ運行しています。(2021年10月現在)



上毛電気鉄道株式会社

上電沿線市連絡協議会 群馬県・前橋市・桐生市・みどり市